経営指標

1 水道事業会計

(1)経営の健全性・効率性についての指標

A案の場合

指標		解説	算定式	H28年度実績	R3年度実績	R7年度実績	R8年度見込み	R13年度見込み	R18年度見込み
1	経常収支比率	給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用が賄われているかをみる。 **100%以上**になっていることが必要。	(経常収益÷経常費用)×100	110.1%	107.9%	106.3%	109.6%	100.7%	82.6%
2	累積欠損金比率	営業収益に対する累積欠損金の状況を表す。 **0%**であることが必要。	(当年度未処理欠損金÷(営業収益－受託工事収益))×100	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3	流動比率	短期的な債務の企業の支払能力をみる。 **100%以上**であることが望ましい。	(流動資産÷流動負債)×100	164.2%	86.2%	96.7%	89.4%	118.3%	10.5%
4	企業債残高対給水収益比率	給水収益に対する企業債残高の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に**低い数値**であることが望まれる。	(企業債現在高÷給水収益)×100	710.9%	656.1%	658.8%	594.1%	687.4%	969.6%
5	料金回収率	給水に要する費用が給水収益によりどの程度回収されているかをみる。 **100%以上**であることが望ましい。	(供給単価÷給水原価)×100	100.0%	99.8%	97.8%	99.4%	95.1%	75.9%
6	給水原価	有収水量1㎥あたりについて、どれだけの費用がかかるのかをみる。 明確な基準はないが、一般的に**低い数値**であることが望まれる。	(経常費用－(受託工事費＋長期前受金戻入))÷年間総有収水量	129.3円	128.3円	132.6円	156.4円	171.9円	215.0円
7	施設利用率	施設の利用が有効かつ適切に行なわれているかをみる。 明確な基準はないが、一般的に**高い数値**であることが望まれる。	(1日平均配水量÷1日配水能力)×100	67.8%	67.5%	67.3%	67.0%	65.7%	64.3%
8	有収率	浄水場から配水された水量のうち、料金として徴収される水量の割合をみる。 **100%**に近ければ近いほどよい。	(年間総有収水量÷年間総配水量)×100	90.7%	90.6%	88.2%	88.0%	86.9%	85.8%

(2)資産(施設)の健全性についての指標

指標		解説	算定式	H28年度実績	R3年度実績	R7年度実績	R8年度見込み	R13年度見込み	R18年度見込み
1	有形固定資産減価償却率	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかをみる。 明確な基準はないが、一般的に**低い数値**であることが望まれる。	(有形固定資産減価償却累計額÷有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価)×100	42.8%	49.3%	55.5%	54.8%	56.0%	54.4%
2	管路経年化率	法定耐用年数を超えた管路延長の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に**低い数値**であることが望まれる。	(法定耐用年数を経過した管路延長÷管路延長)×100	9.0%	18.1%	23.8%	25.4%	35.5%	50.8%
3	管路更新率	当該年度に更新した管路延長の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に**高い数値**であることが望まれる。	(当該年度に更新した管路延長÷管路延長)×100	0.4%	0.4%	0.2%	0.2%	0.3%	0.4%

※R8年度見込値は、R8当初予算に基づく推計値

2 公共下水道事業会計

(1)経営の健全性・効率性についての指標

A案の場合

指標		解説	算定式	H28年度実績	R3年度実績	R7年度実績	R8年度見込み	R13年度見込み	R18年度見込み
1	経常収支比率	料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用が賄われているかをみる。 **100%以上**であることが望ましい。	(経常収益÷経常費用)×100	116.0%	115.5%	106.7%	109.5%	100.2%	92.8%
2	累積欠損金比率	営業収益に対する累積欠損金の状況を表す。 **0%**であることが必要。	(当年度未処理欠損金÷(営業収益ー受託工事収益))×100	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3	流動比率	短期的な債務の企業の支払能力をみる。 **100%以上**であることが望ましい。	(流動資産÷流動負債)×100	27.8%	36.6%	53.4%	53.5%	134.8%	236.6%
4	企業債残高対事業規模比率	料金収入に対する企業債残高の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に**低い数値**であることが望まれる。	((企業債現在高-一般会計負担額)÷(営業収益-受託工事収益 -雨水処理負担金))×100	774.7%	593.7%	417.5%	362.4%	317.8%	348.9%
5	経費回収率	汚水処理に要した費用に対し、どの程度使用料で賄われているのかをみる。 **100%以上**であることが望ましい。	(下水道使用料÷汚水処理費(公費負担分を除く))×100	121.6%	98.8%	98.6%	98.8%	98.8%	98.8%
6	汚水処理原価	有収水量1㎥あたりについて、どれだけ汚水処理に要した費用がかかるのかをみる。 明確な基準はないが、一般的に**低い数値**であることが望まれる。	(汚水処理費(公費負担分を除く)÷年間総有収水量)×100	149.8円	181.3円	183.8円	209.2円	218.3円	217.9円
7	施設利用率	施設の利用が有効かつ適切に行なわれているかをみる。 明確な基準はないが、一般的に**高い数値**であることが望まれる。	(晴天時1日平均処理水量÷晴天時現在処理能力)×100	34.6%	63.6%	65.2%	65.1%	64.2%	63.3%
8	水洗化率	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理人口の割合をみる。 **100%**に近ければ近いほどよい。	(現在水洗便所設置済人口÷現在処理区域人口)×100	95.1%	96.5%	97.2%	97.4%	98.2%	99.1%

(2)資産(施設)の健全性についての指標

指標		解説	算定式	H28年度実績	R3年度実績	R7年度実績	R8年度見込み	R13年度見込み	R18年度見込み
1	有形固定資産減価償却率	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかをみる。 明確な基準はないが、一般的に**低い数値**であることが望まれる。	(有形固定資産減価償却累計額÷ 有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価)×100	34.3%	41.9%	48.8%	49.6%	49.8%	49.8%
2	管渠老朽化率	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に**低い数値**であることが望まれる。	(法定耐用年数を経過した管渠延長÷下水道布設延長)×100	2.7%	5.3%	7.3%	7.7%	10.8%	15.4%
3	管渠改善率	当該年度に改善した管渠延長の割合をみる。 明確な基準はないが、一般的に**高い数値**であることが望まれる。	(改善(更新・改良・維持)管渠延長÷下水道布設延長)×100	4.0%	1.8%	0.5%	1.7%	2.7%	2.6%

※R8年度見込値は、R8当初予算に基づく推計値